

目標達成計画

作成日: 平成 26年 11 月 05 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現場職員の看取りに対する不安感が残っており、知識・技術ともに向上して行かなければならない 全職員が家族の気持ちを理解し、家族支援についても学んでいく必要あり	組織的に看取り介護が行えるように知識・技術力を高める	11/14に行う全体ミーティングにて看取りについての内部研修を実施予定 外部研修があった際には積極的に参加していく。	3ヶ月
2	35	備蓄が避難弱者を抱えているホームとしては少なすぎ、地域の避難所としての対応を求められる可能性も高く備蓄の見直し、防災についての意識を高めていく必要がある	備蓄の整備を行い、防災について再度話し合う	備蓄数の再確認、防災について地域運営推進会議を通してご家族と、自治会長、地域包括職員との話し合いの機会を持ち、職員とも防災について再確認行っていく	3ヶ月
3	49	外出する為の手段介護の手間などが増えてしまい外出の機会が少なくなってしまった。外出できない分ホーム内での行事を増やしたが、外出支援ができるよう今後業務の見直しが必要	雨の日以外外出支援を積極的に行っていくよう業務の見直し行う	11/3に緊急ミーティングを開き、職員と話し合った。午前中は外出支援を積極的に行い、午後からの入浴へするなど大幅に業務変更を行い11/10から開始することとなる。今後問題点などその都度話し合っって外出支援を継続できるよう検討していく	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。